

※今月のみ受注の書目です。

法制史

近代東アジア憲法の歴史的交響

理論の継受と規範の形成

(2024 年 10 月下旬刊行予定)

呉迪こてき (慶應義塾大学大学院法学研究科助教)[著]

A5 判上製 / 320 頁 税込予価 5,720 円 ISBN978-4-7664-2993-0 C3032

👉 ココに注目！

- ・日本の憲法学は中国にどのような影響を与えたのか。
- ・史料を通覧・考察し、その影響の大きさを明らかにする。
- ・憲法をめぐる日中の交流にも触れつつ、実証的に考察する。

19 世紀末から 20 世紀初頭の清朝末期、中華民国初期にかけての中国における立憲構想や制憲活動に対する、大日本帝国憲法（明治憲法）、また明治期以降の日本憲法学が与えた影響について、多角的な観点から実証的に考察する。近代日本及び中国を題材とする比較法制史研究。

対象 (近代法制史、アジア法・中国法を専攻する) 研究者

類書 西英昭『近代中華民国法制の構築』（九州大学出版会）

【営業部からのおすすめポイント】

本書の特徴・独自性は、日本近代法史学の研究手法、また比較法的手法を用いながら、清朝による 1906 年の『予備立憲上諭』『欽定憲法大綱』から 1947 年の『中華民国憲法』に至るまで、今日発見されている当時のすべての憲法の大綱、草案、私擬草案を通覧し、それらの内容を比較対照して考察を加えている点にあります。法制史のジャンルでの販売もしくは研究者の方へのご案内をご検討いただければ幸いです。

(福本)

【目次】

序章

- 第一節 歴史の背景
- 第二節 先行研究
- 第三節 研究目的
- 第四節 各章の構成と要旨

第一章 近代日中両国における憲法の基本概念の定着と連鎖

- 第一節 はじめに
- 第二節 明治日本を介しての憲法概念の創成と伝播
- 第三節 明治日本における憲法の基本概念
- 第四節 近代中国における日本憲法の基本概念の継受と発展
- 第五節 おわりに

第二章 近代中国の憲法制定と明治憲法

- 第一節 はじめに
- 第二節 近代中国の憲法制定の源流
- 第三節 清国末期の憲法制定における明治憲法の参照
- 第四節 中華民国初期の憲法制定と有賀長雄
- 第五節 中華民国 1936 年憲法草案と 1947 年憲法制定における主義、政体と国体
- 第六節 おわりに

第三章 近代中国憲法学の変遷と明治憲法学

- 第一節 はじめに
- 第二節 「近代中国憲法学」の草創期——予備立憲運動以前の憲法学の著作
- 第三節 留日学生における憲法研究の集大成——保廷樑と『大清憲法論』
- 第四節 憲法草案に見る憲法学（一）——第一歴史古文書館所蔵『清政府擬定憲法草稿』
- 第五節 憲法草案に見る憲法学（二）——張伯烈と『假定中国憲法草案』
- 第六節 辛亥革命以降の君主制憲法草案——馬吉符と『憲法管見』
- 第七節 1947 年の憲法解釈学における国体、政体と主義——羅志淵の『中国憲法釈論』
- 第八節 おわりに

第四章 近代中国の憲法学教育における日本的要素

- 第一節 はじめに
- 第二節 学制改革の下で展開された近代中国の憲法学教育の全体像
- 第三節 日本留学の潮流と近代中国憲法学者の育成——法政大学法政速成科を中心に
- 第四節 中国語訳日本人憲法学著作を教科書として用いる学校とその機関誌——北洋法政学堂と『北洋法政学報』
- 第五節 日本人を講師とする憲法学教育機関——京師法律学堂
- 第六節 中華民国期「日本派」憲法学教育の集大成：朝陽大学
- 第七節 おわりに

終章



ご注文は FAX で！ 03 — 3451 — 3124



新刊委託	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
			呉迪著 近代東アジア憲法の歴史的交響 —理論の継受と規範の形成 ISBN978-4-7664-2993-0 C3032	5,720 円	★★

★1 つで「500 部」を表します